



第7回OJT研修会「How to 学級会」

2022.10.13(木)

①学級会の持ち方(ねらいや頻度など)

・ねらい:話し合い活動を通して、「私の意見」「〇〇さんの意見」から「私たちの意見」へと、
みんなの意識を変容させること

・教師として…

「どうすればみんなが納得できる話し合いになるのか」を教師が問い続ける視点をもつ。

- 子どもたちの視点を育てるための声かけができる
- 他者視点が育つ
- 当事者意識が生まれる
- 協働する喜びが生まれる

②進め方

※詳しくは研修会でお渡しした資料をご覧くださいね!

司会グループ(司会1、副司会1、ノート記録1、黒板2)→1回は経験できるようにひと回り以上実施する

①議題決め 提案カードの工夫(子どもたちから出た「話し合いたいこと」を学級会以外にもふれるような工夫、司会グループと教師で)

②進行の計画(教師と司会グループで)

③告知して各自が意見をもつ(学級会黒板の設置、学級会カードを事前を書くなど)

④学級会

⑤各自のふり返り(学級会カードに書けるスペースを作っておくなど)

③工夫されてることや気をつけていることなど

・司会グループの札 司会、副司会など、板書カード(第□回学級会、話し合いの柱①など)

・小野小版学級会スタンダードの作成…来年度に作成するため、今年度必ず司会グループひと回り以上の実施!

(全学年)→子どもたちの積み上げが大切なので、抜けがないようにしましょう!

・座席の配置→コの字型、口の字型、対面型(お互いに顔を見られるとベスト!) 今はコロナのことも考慮して…

・教師の位置→後ろ(あえて子どもたちの視界に入らない工夫)、教師机(子どもたちの表情を見られる工夫)、

いろいろな場所で(司会グループのサポート、困っている子や気持ちが向いていない子へのサポート、
素敵な意見を書いている子への励ましなど)

※どれもいいですね!クラスの実態やその場の様子で工夫してみましょ。

・学級会の最後「教師の言葉」=学級会中の教師の見取りポイント

(私は見つけたポイントとなる意見などを、メモしながら参加していました)

ポイント①めあてに対する子どもたちの様子

ポイント②お手本となる(教師が目指しているもの)意見などをピックアップ…名指しするとその子の自信に

ポイント③司会グループの良かったところ(ほめて自信に!他の子にとっても「こう進めるといいのか」という学びに)

ポイント④話し合ったことを、これからどう活かしていくのか(教師が目指す姿、押しつけにならないよう子どもたちが
考えるような声かけが素敵ですね)

次回の OJT ミニ研修会は、10/17(月)打ち合わせ後
「指揮法」についてです。事前にいただいた資料をお持ち
ください。ご参加お待ちしております!

